

## 税金のおかげで

東川町立東川中学校 三年 浅野 ひより

「税金」と聞いてあなたは何を感じるだろう。今は、少子高齢化に伴い現役世代の一人あたりの納税額が増えていることから「税金＝負担」と考える人も少なくないのではないか。あるとき私の弟はこういった。「国民の負担になるだけなら、税金なんて必要ないんじゃないの？」と。税金について私もいまいち理解できていなかったため「そうかもしれないね。」と答えた。

本当に税金は人々の負担なのだろうか。私は自分の答えに自信がなかったため、父と一緒に考えてみることにした。

父は子供の頃、車と衝突する事故にあったそうだ。でも、すぐに救急車が駆けつけてくれたため、助かった。これは税金がある世界での話だ。もしこの世界に税金がなかった場合、父は救急車を呼べず、命を落としていたかもしれない。「今ここに私もいなかったら…」と思うととても怖い。

また私たちの通っている学校はどうだろう。税のある世界では毎日学校に通い、無料でもらえた教科書で勉強することができる。しかし税金がないと、小学生でもかまわず毎日働いて、学校に行くためのお金を稼ぐことになる。

他にも登下校で使っている道路。いつも綺麗に整備され、心地よく使える。これも税がなければ、道はゴミで溢れかえり、道路はボロボロのはずだ。

事故で駆けつける救急車や警察、お金をかけずに通える学校、安全に使える道路などさまざまな面で税に助けられていることを知り、とてもありがたいものだと思っただ。強く感じた。

このように、税金がある世界と税金がない世界を比較すると、税金がない世界の方が人々の負担になることが見えてくる。だから「税金＝負担」と考えるよりも、「税金＝みんなの未来のための貯金」と考えてみる方が私はしっくりくる。一人の心遣いで、いろんな人たちの生活や笑顔を守り、それがめぐりめぐって自分の助けになる。

私たちは税金があるからこそ、みんなが「普通」と思える生活を送れている。税金がなければ私たちの日常を失うことになるのだ。その日常をつくる税金は私たちにとつてとても大切な存在だと思う。

私はこの作文を通して、税金の大切さを知ることができた。未来について考えられる今こそ、未来を担う私たちが税について学ぶべきだと思う。そして、これからは一人の納税者としてみんなの生活や笑顔を守るお手伝いができたらいいと思う。

最後に私は税の大切さを知った今なら、弟に「それは違うよ。税のおかげで私たちは幸せな毎日を送ることができているんだよ。」と自信をもって伝えられる。